

「釧路湿原自然再生協議会」

## 第37回 再生普及小委員会

令和4年2月4日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局



釧路湿原自然再生協議会  
第37回 再生普及小委員会

日時：令和4年2月4日（金）14:00～15:30  
オンライン（Zoom）開催

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
  - 1) 再生普及小委員会の活動報告
  - 2) 湿原の保全や再生に係る情報の発信について
  - 3) その他

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第37回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第37回再生普及小委員会 資料
  - 再生普及行動計画オフィスの取組について（概要版）
  - [資料1] 再生普及行動計画オフィスの取組について
  - [資料1-1] 「ワンダグリンド・プロジェクト2021」参加状況
  - [資料1-2] 小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況
  - [資料1-3] 参加者アンケート集計結果
  - [資料2] 湿原の保全や再生に係る情報の発信について
- ・ 意見・要望アンケート用紙



釧路湿原自然再生協議会  
再生普及小委員会 委員名簿

計:74名

■個人(34名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏名	所属
1	荒谷 邦雄	九州大学大学院比較社会文化研究院
2	石岡 透	
3	伊藤 毅	上智大学
4	甲斐田 直子	筑波大学システム情報系(社会工学域)
5	金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
6	神戸 忠勝	
7	君塚 孝一	(有)自然文化創舎
8	木村 勲	
9	小松 繁樹	
10	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
11	貞國 利夫	釧路市立博物館
12	佐野 修久	大阪市立大学大学院 都市経営研究科
13	清水 信彦	
14	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
15	杉澤 拓男	
16	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
17	高崎 優子	北海道教育大学教育学部釧路校
18	高嶋 八千代	
19	高橋 忠一	
20	竹中 康進	
21	橘 利器	トラウトフォーラム会員
22	鶴間 秀典	
23	照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
24	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
25	平岡 俊一	滋賀県立大学 環境科学部環境政策・計画学科 准教授
26	蛭田 真一	
27	松本文雄	
28	矢吹 哲夫	北星学園大学 経済学部 教授
29	山本 太郎	一般財団法人北海道河川財団
30	吉中 厚裕	酪農学園大学
31	吉村 暢彦	北海道大学環境科学院
32	渡部 哲史	京都大学防災研究所
33	渡邊 剛弘	上智大学
34	渡辺 義勇	

■団体(25名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター(グルス)	主任解説員 河瀬 幸
2	釧路観光連盟	会長 中山 勝範
3	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也

No.	団体/機関名	代表者名
7	釧路シヤケの会	会長 清水 信彦
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
10	公益財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 本藤 泰朗
11	公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
12	公益財団法人北海道環境財団	理事長 小林 三樹
13	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム	上席研究員 巖倉 啓子
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	道東のイトウを守る会	会長 神田 房行
16	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷲見 祐将
17	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
18	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
19	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
20	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	事務局長・理事 佐藤 吉人
21	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
22	北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク	代表 高橋 克巳
23	北海道標茶高等学校	校長 津嶋 拓慈
24	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ齋藤
25	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 栗林 定正
2	釧路町商工会	会長 土井 茂人
3	標茶町商工会	会長 田中 進
4	弟子屈町商工会	会長 竹森 英彦
5	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 井上 勝伸
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 川越 久史
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 猪島 康浩
4	北海道 釧路総合振興局	局長 菅原 裕之
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 相川 芳久
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 小松 茂
8	標茶町	町長 佐藤 吉彦
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 大石 正行

釧路湿原自然再生協議会  
第37回 再生普及小委員会 出席者名簿

■個人(13名) (敬称略、五十音順)

No.	氏名	所属
1	伊藤 毅	上智大学
2	君塚 孝一	自然文化創舎
3	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
4	貞國 利夫	釧路市立博物館
5	清水 信彦	
6	新庄 久志	釧路国際ウエットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
7	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
8	高橋 忠一	
9	照井 滋晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG
10	山本 太郎	一般財団法人北海道河川財団
11	吉中 厚裕	酪農学園大学
12	渡部 哲史	京都大学防災研究所
13	渡邊 剛弘	上智大学

■団体(7団体) (敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	出席者名
1	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
2	釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子
3	公益財団法人 北海道環境財団	環境事業課長 安保 芳久
4	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
5	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
6	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	渡會 敏明
7	特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ	井上 雅子

■関係行政機関(4機関) (敬称略)

No.	団体/機関名	出席者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	治水課長 池田 共実
2	環境省 釧路自然環境事務所	国立公園企画官 松尾 浩司
3	林野庁 北海道森林管理局	釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長 南 達彦
4	釧路市	市民環境部環境保全課 課長補佐 元岡 直子





「釧路湿原自然再生協議会」

## 第37回 再生普及小委員会

資 料

令和4年2月4日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局



## 目 次

### 【再生普及小委員会の活動報告】

	再生普及行動計画オフィスの取組について（概要版）	1
資料 1	再生普及行動計画オフィスの取組について	3
資料 1 - 1	「ワンダグリンド・プロジェクト 2021」参加状況	11
資料 1 - 2	小委員会事務局が実施する市民参加の取組の実施状況	17
資料 1 - 3	参加者アンケート集計結果	23
資料 2	湿原の保全や再生に係る情報の発信について	29



# 令和3年度 再生普及行動計画オフィスの取組について（概要版）

## 1. ワーキンググループ等の開催

- 第13回 再生普及推進のための連携チーム会合（令和3年5月26日）
- 第13回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ（令和3年8月5日）
- 第14回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ（令和4年1月7日）
- 第14回 再生普及推進のための連携チーム会合（令和4年1月21日）

## 2. 情報発信の取り組み

### ■パネル展等の開催

- 釧路湿原自然再生事業パネル展（令和2年7月～）
- 釧路湿原自然再生事業現地見学会ポスター展（令和3年10月～）
- 釧路市生涯学習フェスティバル「まなトピア 2021」（令和3年11月6日～7日）
- 資料展「釧路湿原を再生するために 今、行われていること」（令和4年2月～）

### ■釧路市中央図書館への資料の収蔵

### ■各小委員会発行ニュースレターの活用

### ■WEB サイトへの情報掲載とメールニュースの配信

## 3. 体験機会提供の取り組み

- 第27回フィールドワークショップの実施（令和3年10月29日）
- 第28回フィールドワークショップの実施（令和4年2月17日 ※中止）
- 市民講座の開催（令和3年8月～10月）

## 4. 市民との連携推進の取り組み

### ■ワンダグリンド・プロジェクトの推進

- 広報・啓発等の実施
- 自然再生協議会等が実施する現地見学会等の取組のとりまとめ

## 5. 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの取組課題の推進

### ■取組課題1「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

- 映像資料等のとりまとめ、連携校（別保小学校、標茶小学校）への提供

### ■取組課題2「自然再生の学校教育への活用促進」

- 達古武地区森林再生および達古武湖自然再生事業地の活用（標茶小学校）

### ■取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

- 教員研修講座の実施
  - ・環境教育の充実～地域とタンチョウとのつながり（令和3年7月16日）
  - ・体感！釧路湿原～植物群落と水の関係から湿原のしくみを学ぶ（令和4年1月7日）
- 授業支援の実施
- 釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、実践等の発表の場作り
  - ・フィールド学習のコーディネート（別保小学校、中央小学校、標茶小学校、幌呂中学校）
  - ・フィールド学習後のフォローアップ
  - ・発表会のコーディネート、中間発表会における助言



## 再生普及行動計画オフィスの取組について

## 1. ワーキンググループ等の開催

## ■第 14 回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

- [日 時] 令和 4 年 1 月 7 日 (金) 14:00~15:30  
[場 所] オンライン (Zoom)  
[参加者] 15 名  
[議 題] ワーキンググループの取組報告

## ■第 14 回 再生普及推進のための連携チーム会合

- [日 時] 令和 4 年 1 月 21 日 (金) 14:00~15:30  
[場 所] オンライン (Zoom)  
[参加者] 13 名  
[議 題] 1. 小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況について  
2. 湿原の保全や再生に係る情報の発信について  
3. その他 (各小委員会からの提案・連絡事項)

## 2. 情報発信の取り組み

## ■パネル展の開催

## ○釧路湿原自然再生事業パネル展

- [期 間] 令和 2 年 7 月 16 日 (金) ~  
[場 所] 釧路フィッシャーマンズワーフ  
MOO  
[内 容] 自然再生事業紹介パネル 9 点



○釧路湿原自然再生事業現地見学会ポスター展

- [期 間] (1) 令和3年10月1日(金)～  
(2) 令和3年10月21日(木)～
- [場 所] (1) 環境省 釧路湿原野生生物保護センター展示室  
(2) 温根内ビジターセンター
- [内 容] 自然再生事業現地見学会広報ポスター5点



○釧路市生涯学習フェスティバル「まなトピア 2021」

- [期 間] 令和3年11月6日(土)～  
令和3年11月7日(日)
- [場 所] 釧路市生涯学習センター「まなぼつと幣舞」
- [内 容] ・自然再生事業紹介パネル展示  
・北海道の希少な生きものたちパネル展示  
・樹脂標本(昆虫、ザリガニ、魚類)、泥炭等の展示  
・ワンダグリンダ参加団体活動紹介(宮部碧氏:猛禽新聞、辻野正氏:湿原クラフト体験教室・ジオラマ展示、タクツパ氏:アイヌ民族と植物)



○資料展「釧路湿原を再生するために 今、行われていること」

- [期 間] 令和4年2月1日(火)  
～令和4年3月24日(木)
- [場 所] 釧路市中央図書館5階フロア
- [内 容] 釧路湿原自然再生協議会提供資料及び取組み紹介ポスターの展示
- [主 催] 釧路市中央図書館





## ■地域の図書館や博物館における資料の整備

各小委員会事務局から提供を受けた資料を取りまとめ、7月に釧路市中央図書館に収蔵、2月1日より一般向けの配架を開始した。(資料2参照)



※令和3年度に発行された資料についても順次取りまとめのうえ、釧路市中央図書館に収蔵する。

## ■各小委員会発行ニュースレターの活用

各小委員会が発行するニュースレターの配布等により情報発信を行った。(資料2参照)

## ■WEBサイトへの情報掲載とメールニュースの配信

### ○ウェブサイト

- ・みんなで進める！釧路湿原の自然再生

[URL] <https://www.kushiro-wanda.com/>

ワンダグリンドの活動状況や釧路湿原で行われる行事情報、推進連携チームおよび再生普及小委員会、学校支援ワーキンググループ会合資料等をホームページへ掲載した。

- ・きづく わかる まもる 釧路湿原

[URL] <https://www.kushiro-ee.jp/>

学校教育における湿原の活用に関する情報を掲載した。(以下5参照)



### ○メールニュース (ワンダグリンド☆ニュース)

- ・月2回程度、ワンダグリンドの活動状況や釧路湿原で行われる行事情報を配信した。
- ・月1回、メールニュースの内容をチラシとして取りまとめたものを施設等各所に郵送し、掲出を依頼した。

### 3. 体験機会提供の取り組み

#### ■フィールドワークショップの実施（予定）→中止

○第28回フィールドワークショップ～不凍の温根内川をたどって厳寒の赤沼へ～

[日 時] 令和4年2月17日（木）9:00～13:00

[場 所] 鶴居村温根内

[案内人] 新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター 主任技術員）



### 4. 市民との連携推進の取り組み

#### ■ワンダグリンダ・プロジェクトの推進

プロジェクト登録者の取組広報、連携した啓発等を継続した。

・参加登録者 59 団体・個人、連携校 4 校、広報支援 8 施設（資料 1 - 1 参照）

#### ○広報・啓発等の取り組み

・教育機関、公共機関・施設等でワンダグリンダ活動報告書を配布し、ワンダグリンダ・プロジェクトの周知を実施した。また、イベント等での活動紹介、メールニュースやホームページ、施設等での行事広報を実施した。（上記 2，3 を参照）

#### ○自然再生協議会等が実施する現地見学会等の取組のとりまとめ

- ・現地見学会や自然再生への参加機会のとりまとめを行った。（資料 1 - 2 参照）
- ・現地見学会広報ポスター等を活用した行事の周知を行うとともに、必要に応じて企画支援を実施した。（資料 2 参照）
- ・各イベントにおいて共通様式のアンケートを実施し、その回答の集約、分析を行った。（資料 1 - 3 参照）

## 5. 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの取組課題の推進

### ■取組課題1「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

○映像資料等のとりまとめ、連携校への提供

湿原を題材とした学習に取り組む学校を主な対象として映像資料をとりまとめ、授業での活用促進を図った。

[別保小学校に提供した資料]

- ・夢が丘遊歩道沿いの湧き水（実物）
- ・達古武湖、塘路湖の水（実物）
- ・採水風景を編集した映像資料



※今年度作成した映像資料については、WEB サイトにとりまとめて活用の促進を図る。

### ■取組課題2「自然再生の学校教育への活用促進」

授業支援の中で、題材として自然再生事業の取組みの紹介等を行った。

### ■取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

#### ○教員研修講座の実施

- ・体感！釧路湿原～植物群落と水の関係から湿原のしくみを学ぶ

[日 時] 令和4年1月7日(金) 9:00～12:00  
[場 所] 釧路湿原右岸堤防沿いの湿原  
[講 師] 新庄 久志 氏 (釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)  
[参加者] 9名  
[内 容] 湿地林・林床の観察と各植物に係るレクチャー、各植物群落での樹高、胸高直径の簡易調査、観察された植物群落と水との関係性についての講話



#### ○授業支援の実施

- ・釧路町立富原小学校

[日 時] 令和3年8月24日(火)  
9:30～12:00  
[場 所] 4年生 60名  
[内 容] 釧路湿原野生生物保護センター施設  
見学対応



- ・鶴居村立幌呂中学校

[日 時] 令和3年10月26日(火) 9:00～10:45  
[場 所] 1年生 1名  
[内 容] 総合学習における現地調査同行、助言 (温根内周辺の外来植物に関する説明、防除の実践)

○釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、実践等の発表の場作り

年間を通じた授業づくりの支援を行うとともに、学校、施設等と連携し、児童の取り組みを地域に発信する場づくりを行った。

・フィールド学習後のフォローアップ（釧路町立別保小学校 5 年生）

[日 時] 令和 3 年 10 月 29 日（金） 13:20～14:05

[場 所] 釧路町立別保小学校

[対 象] 5 年生 20 名

[内 容] 児童の学習テーマ、担任教諭からの要望を踏まえて、フィールドでの試料等の採集、映像資料の提供、生徒の課題や疑問に対する助言等を行った。

・発表会のコーディネイト、とりまとめにあたっての助言（釧路町立別保小学校 5 年生 中間発表会）

[日 時] 令和 3 年 12 月 8 日（水）  
10:30～12:05

[対応者] 境教授（北海道教育大学）、和田専門員・松橋主事（釧路市環境保全課）、川尻氏（太平洋総合コンサルタント株式会社）、瀧口自然保護官（環境省釧路湿原自然保護官事務所）、安田・山本（北海道環境財団）、加藤（北海道環境財団 ※オンライン参加）



[内 容] 3 教室に分かれて行われた各発表に対する助言、質疑対応を行った後、境教授より総括のコメントをいただいた。

・発表会のコーディネイト、とりまとめにあたっての助言（釧路市立中央小学校 5 年生 中間発表会）

[日 時] 令和 4 年 1 月 21 日（金）  
10:25～12:00

[対応者] 境教授（北海道教育大学）、松橋主事（釧路市環境保全課）、山本（北海道環境財団）



[内 容] 体育館で 2 グループに分かれて行われた各発表に対する助言、質疑対応を行った後、境教授より総括のコメントをいただいた。

※今後、標茶町立標茶小学校、釧路町立別保小学校において実施予定の学習発表会のコーディネートを実施する。

※学外での発表会の企画として研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」及び口頭発表会の企画調整を行う予定。

(釧路湿原サイエンスフェア 開催予定)

実施日	実施場所	概要
令和4年 2月9日～2月17日	釧路市役所本庁舎	中央小学校の学区内に位置する施設において、同校から借用した研究発表ボードを展示
令和4年 2月22日～2月28日	標茶町開発センター	標茶小学校の学区内に位置する施設において、同校から借用した研究発表ボードを展示
令和4年 3月1日	釧路市観光国際交流センター	第28回釧路湿原自然再生協議会会場において、中央小学校、標茶小学校、別保小学校から借用した研究発表ボードを展示
令和4年 3月2日～3月9日	釧路町役場	別保小学校の学区内に位置する施設において、別保小学校から借用した研究発表ボードを展示
令和4年 3月19日～4月10日	釧路市こども遊学館	中央小学校の学区内に位置する施設において、標茶小学校、中央小学校、別保小学校から借用予定の研究発表ボードを展示予定

## 「ワンダグリンド・プロジェクト 2021」参加状況

○中間報告以降の新規：1 団体

[団体名] NPO 法人 子ども環境ネットワーク

[取組み内容] 釧路地域内外の子どもたちが力を合わせて、釧路湿原を守る行動を開始することを支援する。

## 「ワンダグリンド・プロジェクト 2021」参加登録者一覧（59 団体・個人（2 月 4 日現在））

団体数	氏名・団体名	取組概要
1	愛国幸恵町内会	釧路湿原や町内会周辺の身近な自然の写真や『ワンダグリンド☆ニュース』を町内会で回覧
2	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする
		釧路に自生する植物を使ったアート作品の制作と発表
		釧路川周辺の清掃活動を実施
3	伊勢 志郎	釧路湿原国立公園内の施設に来園記念の折鶴を提供。その他たんちよう釧路空港や丹頂鶴関連の施設にも提供
4	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～いきいき女性講座～ 「キラコタン岬とコッタロ湿原展望台から釧路湿原を眺めよう」
		～ふるさと講座～ 湿原ホテル講座 「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」
		～釧路学教養講座～ 「釧路湿原を訪ねて～キラコタン岬と自然再生地～」
		～まなぼつとわくわく体験隊～ 「森とあそぼう 2015」(達古武で自然再生を考える調査体験)
5	(NPO)美しい村・鶴居村観光協会	タンチョウ、湿原による環境のPR及び「湿原マップ」の販売
6	(株)FMくしろ	放送を通じて、湿原の植物や昆虫、動物、歴史などをわかりやすく楽しく発信する
7	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」の販売
8	カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝える
9	環境コンサルタント株式会社	達古武湖でカヌー清掃&ヒシ料理試食会を実施
10	(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施
11	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて湿原をPRする
12	(NPO)霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の保全活動を通して、人との交流を深め湿原ファンを増やす

団体数	氏名・団体名	取組概要
13	釧路国際ウェットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を地域の人々と一緒に行う
		湿地・生物多様性に係る途上国の行政官等を対象とした湿地保全やワイズユースに関する研修を実施(JICAより委託)
		ホームページ等による釧路湿原の情報発信(日本語・英語)
14	釧路自然解説員	「自然再生解説員」により釧路湿原や自然再生事業の取組を細岡展望台を訪れる観光客を対象にわかりやすく解説する
15	釧路湿原 MTB クラブ	釧路湿原周辺の林道ツーリングの実施
16	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原や釧路川の観察活動および環境学習を通じて良好な河川環境の維持に務める
17	釧路湿原国立公園 ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークの実施
		ウチダザリガニ駆除調査
		温根内木道定点解説
18	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報を自然情報誌、ガイドマップ、ホームページなどで提供する
		温根内ビジターセンターと塘路湖エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施する。また来訪者に自然解説や情報提供を行う
		釧路湿原こどもレンジャー活動を実施
		釧路湿原国立公園クリーンデーを実施
19	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信(会議公開、HP、ニュースレター発行)
		学習会や講演会などの実施
		市民参加の見学会の実施
		パネル展などの実施
		視察・研修などの受け入れ
		自然再生に関わる資料を発刊
20	釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催
21	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原の美しさを参加者に伝える
22	釧路市中央図書館	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介
23	釧路市立博物館	釧路湿原に関わる調査を行い、企画展示や観察会、講演会などで湿原の魅力を伝える
24	釧路市動物園	「タンチョウレスキューの現場から」について園内でのガイド(バックヤードツアーつき)、パネル展、講演会、ツイッター等で情報発信する
25	釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式の実施



団体数	氏名・団体名	取組概要
26	釧路短期大学	地域の方々に向けたパネル展示等、釧路湿原で行われている取り組みに関心を持っていただく為の活動を実施する
27	釧路走ろう会	釧路湿原マラソン大会をはじめ、練習会や個人で湿原の魅力を感じ爽やかな汗を流しながら走る仲間を募る
28	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描く
29	(株) 釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原ネイチャーウォークなどの実施。釧路湿原の様子を画像発信するなど全国そして全世界へ釧路湿原の魅力を伝える
30	(NPO) 釧路湿原やちの会	釧路湿原の聖域キラコタン岬入口周辺の外来植物オオアワダチソウの駆除を実施
31	こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査・防除活動
32	NPO 法人 子ども環境ネットワーク	釧路地域内外の子どもたちが力を合わせて、釧路湿原を守る行動を開始することを支援する。
33	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究
34	木幡 弥乃莉	『ワンダグリンダ☆ニュース』、ポスターやチラシなどのイラストを描く
35	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	釧路湿原をはじめ釧路市の観光情報を発信
36	沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動(ごみ拾い)を実施
37	品田 忠	木の枝の作品作りや展示、木工教室を通し湿原からの水の大切さを伝える
38	上智大学 社会とエコロジー “リバーズ”	釧路湿原を軸に河川の環境保全、野生動物の保護活動などの取組を学ぶ
39	シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原を学ぶ自然文化講座を実施
40	太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施(野外での水質調査、生物調査を通して身近な環境を楽しみながら学ぶ)
41	タクッパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介
42	田中 道人	ドローンで湿原を撮影し、動画で紹介する
43	(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護に関する教育普及活動を実施
44	charcha	釧路湿原の自然再生活動や清掃活動に参加
		HP、SNSで活動を報告・告知する
45	辻野 正	釧路湿原の生き物の生態を紙細工で紹介する。その他作成指導や実演、完成品や作成キットの無料配布や展示を実施
46	(株) 鶴居村振興公社 鶴居村どさんこ牧場	北海道和種馬(通称どさんこ)による釧路湿原国立公園を含む地域でのホーストレッキングで多くの方々に地域の自然を楽しんで頂く
47	鶴田 義成	釧路長期滞在中、釧路湿原周辺の清掃活動を実施
		千葉県在住中、釧路湿原自然再生事業の取組を紹介
48	(NPO) トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組、湿原やトラスト地の観察会を行う

団体数	氏名・団体名	取組概要
49	西村 咲輝	釧路湿原でのバードウォッチングを楽しみながら清掃活動を行う
50	西村 孝広	釣りの自警活動の一環として釣り場周辺の清掃活動を行う
		オオハンゴンソウの駆除活動を行う
51	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	タンチョウの冬季自然採食地の整備、普及教育、生息環境調査を行う
52	はじめのいっぽ	インスタグラムで、実際に見て体験した自然の魅力を発信
53	長谷 泰昌	教員等を対象に湿原の魅力を伝える
		理科授業を通して環境教育に取り組む
54	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、釧路湿原の学習を中心にすえ自然の大切さを体験学習する
55	北海道ウチダザリガニ 防除ネットワーク	釧路湿原の貴重な自然環境や保全に携わる魅力的な人々のことを紹介する
56	ミュージックサロン・タジマ	カラオケ発表会を通して湿原のPRや募金活動を行う
57	宮部 碧	釧路湿原についての展示製作
		豊田市のラムサール条約登録湿地での保全活動とその紹介
58	やちラボ	釧路湿原の旬の自然情報を行動計画オフィスに届ける
		釧路湿原の魅力を地元の人々や観光客に伝える
		釧路湿原に生息する「やちぼうず」の魅力をPRする
59	雷別ドングリ倶楽部	シラルトロ湖上流の立枯れ被害にあった森林で市民参加型の自然再生事業を行う

#### 連携校一覧（4校）

学校数	学校名	取組概要
1	標茶町立標茶小学校	自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
2	釧路市立中央小学校	釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
3	釧路町立別保小学校	釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
4	釧路湖陵高等学校	自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習、発表資料のとりまとめ、学内および学外発表等の実施

広報支援としての参加施設一覧（8施設）

施設数	施設名	取組概要
1	釧路市民活動センターわっと	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
2	釧路町温水プール	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
3	釧路町地産地消センターロ・バザール	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
4	釧路町総合体育館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
5	達古武オートキャンプ場	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
6	細岡ビジターズラウンジ	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
7	標茶町博物館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
8	古書 かわしま	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架



## 小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況

令和 4 年 2 月 4 日  
再生普及行動計画オフィス

今年度自然再生協議会各小委員会が実施した市民参加の取組みは以下のとおり。

開催日	イベント名	主催
8 月 1 日 (日)	幌呂地区湿原再生現地見学会	湿原再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)
8 月 21 日 (土) 10 月 10 日 (日) 10 月 16 日 (土)	市民講座「湿原の河川を歩く、湿原の魚類を観る！」 釧路湿原の『すごい!』を体験しよう 【第 1 回】釧路湿原を学ぼう 【第 2 回】フィールド訪問～湿原の河川を歩いてみよう～ 【第 3 回】これからの湿原と私たち～魚類の営みを観察しよう～	再生普及小委員会事務局 (環境省釧路自然環境事務所)
10 月 5 日 (火)	企業との協働による広葉樹の森林づくり	森林再生小委員会事務局 (釧路湿原森林ふれあい推進センター)
10 月 13 日 (水)	第 2 回「雷別ドングリ倶楽部」	森林再生小委員会事務局 (釧路湿原森林ふれあい推進センター)
11 月 13 日 (土)	「水・物質循環」現地見学会	水循環小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)

緊急事態宣言発令等により中止となった取組みは以下のとおり。

開催日	イベント名	主催
8 月 25 日 (水) 8 月 28 日 (土)	カヌーde ヒシ刈り in 達古武湖 2021	湿原再生小委員会事務局 (環境省釧路自然環境事務所)
9 月 3 日 (金) 9 月 4 日 (土)	茅沼地区旧川復元現地見学会	河川環境再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)
10 月 9 日 (土)	久著呂川自然再生の見学ツアー	土砂流入小委員会事務局 (釧路建設管理部治水課)
1 月 22 日 (土)	自然再生を考える調査体験会 2021「森づくりと生き物しらべ」～冬の沢歩きと沢の生き物観察!～	森林再生小委員会事務局 (環境省釧路自然環境事務所)

# 現地見学会実施報告書

日時：令和3年8月1日（日） 8：00～12：40

場所：幌呂地区湿原再生区域（鶴居村 下幌呂）

行事名：幌呂地区湿原再生現地見学会

主催者：湿原再生小委員会事務局（釧路開発建設部治水課）

参加者人数：18名

## 取組の概要

自然再生事業を広く一般住民に理解していただくため、未利用地を湿原に再生している「幌呂地区湿原再生」事業箇所において、事業実施後の湿原植生の回復状況を見て頂くと共に、湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、泥炭の観察、ハンノキを衰退させるための試験としてハンノキ環状剥皮（巻き枯らし）の体験を行いました。



**ヨシ苗の移植** シャベルで穴を掘りヨシを移植しました。泥炭の地面に穴を掘るのはたいへんです。



**泥炭の観察** 乾燥泥炭の違いの観察、泥炭の掘削断面の観察によりその年代の環境を推測しました。



**ハンノキ環状剥皮** 増殖したハンノキを、容易に枯死させるため、樹皮を環状に剥ぎました。



**湿原植物、魚類の観察** 再生が進む湿原の植物と湿原周辺に住む魚類を観察しました。



## 主催者の感想

今年で9回目の開催となり、新型コロナウイルス感染予防対策のため例年より少ない18名の方に参加していただきました。アンケートでは、「身近な様でなかなか行けないところへ行けて大変印象が深く良かった」「土を掘ってみて泥炭がなかなか掘れない。みっちり感がすごい」など湿原と直に向き合えた感想が添えられ、釧路湿原の保全に関心があることを実感いたしました。これからも、釧路湿原の再生に向けて、この見学会を引き続き開催したいと考えております。

## 市民講座実施報告書

日時：令和3年8月21日（土） 10:00～12:00 【第1回】  
令和3年10月10日（日） 9:30～12:00 【第2回】  
令和3年10月16日（土） 9:30～12:00 【第3回】

場所：釧路地方合同庁舎【第1回】、温根内周辺フィールド【第2回】  
鶴居村セツリ川支流周辺フィールド【第3回】

行事名：市民講座「湿原の河川を歩く、湿原の魚類を観る！ 釧路湿原の『すごい！』を体験しよう」

主催者：再生普及小委員会事務局（環境省釧路自然環境事務所）

参加者人数：10名

### 取組の概要

一般市民の方に釧路湿原の価値や魅力を改めて見つめていただく機会として、昨年度に引き続き全3回からなる連続講座を開催しました。

第1回講座において、釧路湿原と市民の関わりや豊かな自然、また、魚類生息環境の復元を目指す再生事業の取り組み等について学んだ後、第2回講座・第3回講座で普段は立ち入ることができない湿原内部や湿原上流河川部を訪問し、湿原の「すごい！」を体験しました。



第1回講座（座学）



第2回講座（温根内）



第3回講座（シセツリ川支流）

### 主催者の感想

昨年度同様、募集人数を大きく越える応募がありました。湿原を学び、体験できるこうした機会提供への期待が大きいことを感じます。

講座は座学とフィールドからなる連続講座として実施しました。それにより理解が深まり、フィールドでの驚きや発見にも繋がったものと思います。また、今年は講師をお二人お招きし、それぞれから講義・フィールドをご案内いただきました。より多様な視点から湿原を考え、体験いただく機会を提供できたと思います。

## 現地見学会等 実施報告書

日時：令和3年10月5日（火）9：00～14：00

場所：雷別地区自然再生事業地（標茶町雷別／根釧西部森林管理署 293 林班）

行事名：企業との協働による広葉樹の森林づくり

主催者：森林再生小委員会（釧路湿原森林ふれあい推進センター）

参加者人数：11 名

### 取組の概要

この活動は、札幌市に支店を置く企業が、社会貢献活動の一環として、平成 29 年度から当センターと協働し、雷別地区自然再生事業地で行っている自然再生の取組みで、今回で第 4 回目の開催となります。

当日は、雷別地区自然再生事業地の笹地 10 で、広葉樹 4 種（ミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、カツラ）計 140 本の植樹と共に、植栽木を野生生物の食害から守るため、保護管（ツリーシェルター）の被覆を行いました。



### 主催者の感想

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、複数回に渡って日程を変更し、参加者を例年より少人数に抑えての活動となりました。

参加者からは、「普段、自然とふれあう機会が少なく貴重な体験だった」「ウサギの（食害）対策も必要ということを知らなかった」「達成感が素晴らしい」等の感想があり、この活動に満足され、森林再生に対する理解をより深めていただけたようです。

企業側の社会貢献活動への意欲は高く、今後も協働して活動を継続していきたいと考えております。



## 現地見学会等 実施報告書

日時：令和3年10月13日（水） 9：00～15：00

場所：雷別地区自然再生事業地（標茶町雷別／根釧西部森林管理署 293 林班）

行事名：第2回「雷別ドングリ倶楽部」

主催者：森林再生小委員会（釧路湿原森林ふれあい推進センター）

参加者人数：8名

### 取組の概要

「雷別ドングリ倶楽部」は、高齢級のトドマツ人工林が気象害によって立ち枯れし、笹地となった箇所が広がっている雷別国有林をフィールドとして、平成19年7月から当センターと協働で森林再生等に取り組んでいるボランティアの方々の集まりです。

今回の活動は、雷別地区自然再生事業地の笹地11で、広葉樹4種（ミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、カツラ）計100本の植樹と共に、植栽木を野生生物の食害から守るため、保護管（ツリーシェルター）の被覆を行いました。

植樹活動終了後には、前年の活動で植樹を行った箇所とその周辺の様子を見学しました。



### 主催者の感想

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程を変更し、参加人数を制限した中での開催となりましたが、8名の会員に参加していただきました。

会員からは、「植樹ができて満足」や「毎回少しずつの植樹でもこんな広範囲の森林づくりにつながるんですね」等の感想があり、森林再生の取組みが着実に進んでいることを実感していただけたようです。

今後も「雷別ドングリ倶楽部」と協働し、活動を継続していきたいと考えております。

## 現地見学会実施報告書

日時：令和3年11月13日（土） 8：00～12：30		
場所：阿寒郡鶴居村キラコタン岬、釧路川横堤		
行事名：「水・物質循環」現地見学会		
主催者：釧路湿原自然再生協議会 水循環小委員会（釧路開発建設部治水課）		
参加者人数：12名		
<b>取組の概要</b> <p>釧路湿原の北に位置するキラコタン岬で湿原に流れ込む湧水や、湿原の水の出口となる釧路川下流を見学し釧路湿原が形成維持される仕組みや自然再生事業について学ぶ見学会を開催しました。</p> <p>釧路湿原の下流の水の出口となる横堤という川をせき止めるような施設は、ドローンを使い上空から大雨の後などの市街地へ流れ込む水を抑制できる効果のある事をみていただき、キラコタン岬では、湿原への水の流出入、土砂の流入、泥炭と湿原の関係など説明を聞きました。</p> <p>皆さん少し風が強く寒い中、きれいな景色をバックに熱心に説明を聞いていました。</p>		
 <p>テントで釧路湿原下流付近上空からの映像を見ました。</p>	 <p>キラコタン岬の散策。</p>	 <p>キラコタンから釧路湿原の眺望をしばし楽しみました。</p>
<b>主催者の感想</b> <p>釧路湿原における水・物質循環の課題やそれに対する対策など比較的難しい分野を一般の参加者にわかりやすく説明することをモットーに実施しました。参加者からの質問が多くあり、釧路川や釧路湿原の保全に理解しようとしている努力を感じました。アンケートからは、「ドローンを使って上空から釧路川の形を見ることができた」「落葉のジュウタンがすごく良かった」などの感想をいただき、今後も多くの方々に関心が持てるような現地見学会を企画したいと考えております。</p>		

参加者アンケート集計結果

- ・アンケート配布行事数：5 行事
- ・アンケート回収数：58 名分

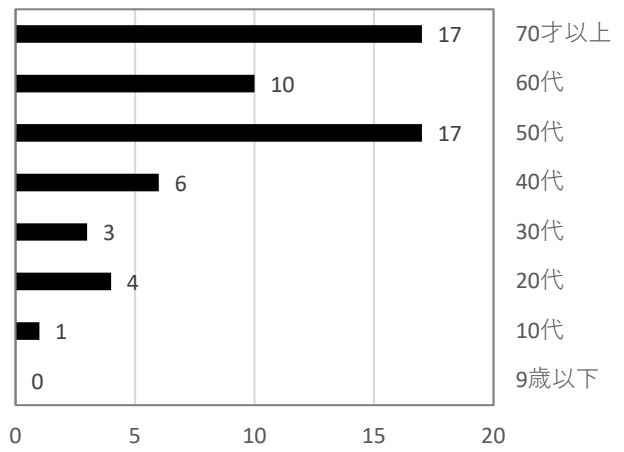
※行事名称の略称は以下のとおり

- 幌呂見学会：幌呂地区湿原再生現地見学会
- 市民講座：釧路湿原の「すごい！」を体験しよう
- 企業協働：企業との協働による広葉樹の森林づくり
- 雷別ドングリ：第 2 回「雷別ドングリ倶楽部」
- 水循環見学会：「水・物質循環」現地見学会

設問 1. あなたの年齢を教えてください（選択式）

○参加者の年代（左表：各行事別の集計値、右図：回答項目別の 3 行事合計値（単位：人）以下同）

年齢 \ 参加行事	幌呂見学会	市民講座	企業協働	雷別ドングリ	水循環見学会
70 才以上	7	1	0	7	2
60 代	4	1	0	1	4
50 代	4	2	7	0	4
40 代	2	3	1	0	0
30 代	0	2	0	0	1
20 代	1	0	3	0	0
10 代	0	0	0	0	1
9 歳以下	0	0	0	0	0
回答者数	18	9	11	8	12

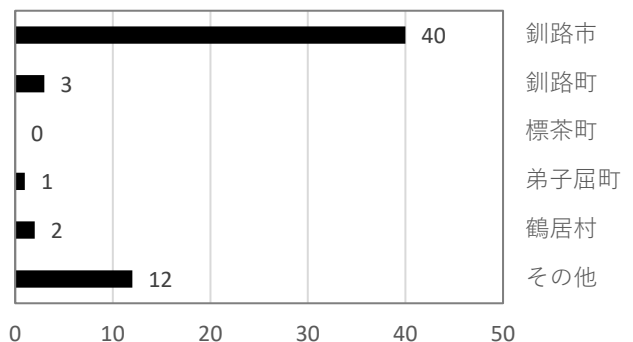


(人数)

設問 2. あなたのお住まいを教えてください（選択・記入式）

参加者の居住地

居住地 \ 参加行事	幌呂見学会	市民講座	企業協働	雷別ドングリ	水循環見学会
釧路市	16	6	0	8	10
釧路町	1	1	0	0	1
標茶町	0	0	0	0	0
弟子屈町	0	1	0	0	0
鶴居村	1	1	0	0	0
その他	0	0	11	0	1

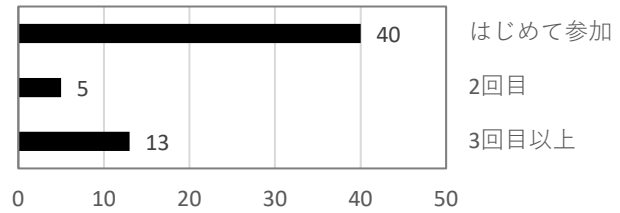


※その他内訳：札幌市（11）、埼玉県（1）

設問3. 今回参加された行事への参加回数を教えてください（選択式）

○当該行事への参加歴（各行事集計値）

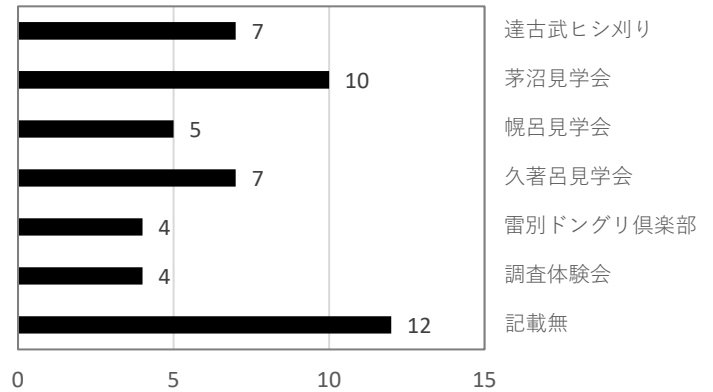
参加歴 \ 参加行事	幌呂見学会	市民講座	企業協働	雷別ドングリ	水循環見学会
はじめて	13	9	6	0	12
2回目	1	0	4	0	0
3回目以上	4	0	1	8	0



設問4. 自然再生協議会が実施する（今回参加した行事以外の）行事に参加したことがありますか（選択式・複数回答）

○他行事への参加経験

参加経験がある行事 \ 参加行事	幌呂見学会	市民講座	企業協働	雷別ドングリ	水循環見学会
達古武ヒシ刈り	4	0	1	2	0
茅沼見学会	5	0	0	3	2
幌呂見学会		2	0	3	0
久著呂見学会	4	1	0	2	0
雷別ドングリ	3	0	0		1
調査体験会	2	0	0	2	0
記載無	0	0	10	2	0



《参考》設問3. 4. の回答結果より、【釧路湿原自然再生協議会が実施する行事への参加経験】を集計

○自然再生協議会主催行事への参加経験

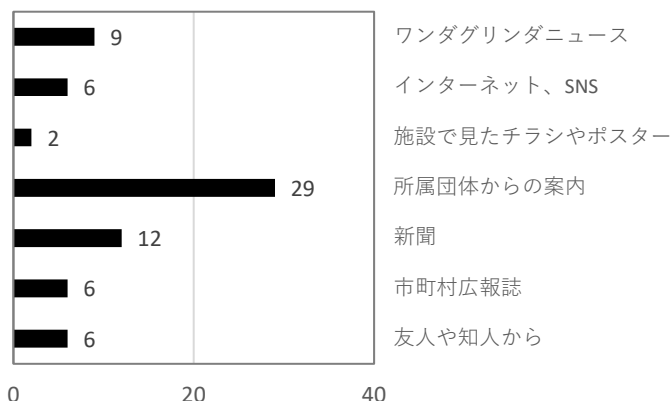
参加歴 \ 参加行事	幌呂見学会	市民講座	企業協働	雷別ドングリ	水循環見学会
はじめて参加した	10	6	6	0	10
参加したことがある	8	3	5	8	2



### 設問5. この行事をどのようにして知りましたか（選択・記入式・複数回答）

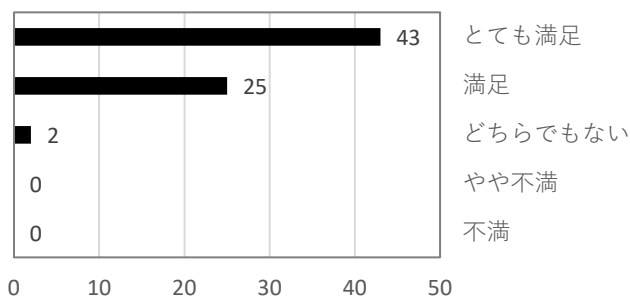
○参加した行事を知ったきっかけ

	幌呂 見学会	市民 講座	企業 協働	雷別ド ソグリ	水循環 見学会
ワンダグリダ ニュース	3	1	0	5	0
インターネット、 SNS	1	2	0	0	3
施設で見たチラシ やポスター	0	1	0	0	1
所属団体からの 案内	10	1	11	5	2
新聞	4	2	0	1	5
市町村の広報誌	2	2	0	2	0
友人や知人から	2	2	0	1	1



### 設問6. この行事に参加したご感想をお聞かせください（選択式）

参加 行事 満足度	幌呂 見学会	市民 講座	企業 協働	雷別ド ソグリ	水循環見学会	
	見学会	講座	協働	ソグリ	キラコタン	横堤
とても満足	10	7	6	2	8	10
満足	8	2	4	5	4	2
どちらでもない	0	0	1	1	0	0
やや不満	0	0	0	0	0	0
不満	0	0	0	0	0	0



### その理由をご記入ください（設問6つづき、自由記載）

#### ■幌呂見学会 参加者回答

- ・スタッフの準備が万全でスムーズに作業が進んだ
- ・今まで未経験の事がやれて嬉しい
- ・実施されている事業を知ることは重要
- ・湿原の中に足を踏み入れる事が出来た
- ・体験型。普段は湿原に入れない
- ・実際に現場の様子を見て取り組みの現状や目標がわかった
- ・ヨシ移植&ハンノキ剥皮が興味深かった
- ・とても満足よりの満足。説明する方がスピーカーを常に持ってほしかった。後方は聞き取れなかったと思うので
- ・景色
- ・再生事業の必要性とそのためどのような作業を行っているかを理解できたこと
- ・もう少し涼しい季節だと参加しやすいのでは？と思う
- ・以前ヨシ移植に参加した場所の「その後」を見る事が出来よかった。経過観察希望
- ・毎年状態が変化するのが楽しみ

#### ■市民講座 参加者回答

- ・多様な価値ある情報（環境も含めて）を得ることが出来た。新庄先生との調査が楽しかった
- ・話を聞けるだけでも勉強になって面白いが、実際に体験しながら実物を見たり触れたりしながら教えていただけだったのでとても満足した
- ・まず座学をしっかり行い、その後でフィールドに出てじっくり体験するという構成はとても良いと思いました。参加者の規模としてもちょうどよいと思う
- ・今まで知らなかったことをたくさん知ることが出来た。人の生活と自然との関係を考えるきっかけとなった

- ・通常立ち入ることが出来ない場所に入ることが出来、観察する際のポイント等を学ぶことが出来た
- ・1人では行くことのできない場所だったので、とても有意義でした、ありがとうございます。
- ・産卵の鮭の様子、間近に見れて非常に良い時間だった
- ・普段では体験できない経験ができた

#### ■企業協働 参加者回答

(とても満足の理由)

- ・植樹で社会貢献ができたから
- ・達成感が素晴らしい
- ・初めての経験、貴重な体験が出来た

(満足の理由)

- ・良い運動になった

#### ■第2回雷別ドングリ倶楽部 参加者回答

(とても満足の理由)

- ・一人では体験出来ない行事に参加出来る。自然再生事業に関われる

(満足の理由)

- ・実施したい事が出来たので
- ・植樹10本出来たこと
- ・過去に植樹した場所の案内などで少しづつの植樹もこんな広範囲の森づくりにつながることに喜びを感じた

#### ■水循環見学会（広里・横堤） 参加者回答

- ・ドローンを使って上空から釧路川の形を見ることができた
- ・ドローンを使ってのライブでの解説は先進的で面白かった
- ・ドローンのライブ映像を見ながらの解説がとてもわかりやすくよかった（思ったより寒かったがテントがあつてよかった）
- ・右岸堤防など普段見れないところを専門的な説明を受けながら見れたため
- ・普段入れない場所を見せていただいたこと。ドローンによる説明もわかりやすかった
- ・ドローンを飛ばして上空から見れて良かった
- ・秋の季節に入ったのは初めて。(冬は歩くスキーである)
- ・ドローンでの映像は良かった。横堤があった事を初めて知った。もっと先端まで行きたかった
- ・湿原の中を車で移動し感動した

#### ■水循環見学会（キラコタン岬） 参加者回答

- ・一人では行けないし、特別保護区に入ることができて良かった。釧路湿原の再生事業についてよく知ることができた
- ・ポイントでの解説+道中でのトリビア的なお話で理解が深まった。
- ・要所要所で専門家の説明が聞けてよかった
- ・絶滅したと思われたタンチョウをこの場所で発見されたとはナットク
- ・普段行けないところに行けて、ハンノキの話などを聞けたため
- ・周りの環境について説明していただきながらキラコタン岬まで行けたことが良かった
- ・初めて行くことができた
- ・なかなか行けない場所だったので良かった
- ・悠久の世界が素晴らしいことだった
- ・秋のキラコタンは初めて。落葉のジュウタンすごく良かった。やがて純白のベル見れる日も近いでしょう

### 設問7. この行事の中で最も印象が深かったことを教えてください（自由記載）

#### ■幌呂見学会 参加者回答

- ・ハンノキ樹皮はがし
- ・身近な様でなかなか行けないところへ行けて大変印象が深く良かった
- ・ヨシの移植
- ・湿原の中に入って感動しましたしハンノキをけずって枯らすのに驚きました。とても満足
- ・クイナの声が聞けた

- ・事業概要の説明
- ・ヨシ植え。ハンノキが硬かったこと
- ・環状剥皮の体験をしたこと
- ・植樹。土を掘ってみて泥炭がなかなか掘れない。みっちり感がすごいですね
- ・泥炭観察
- ・自然を守る為に自然(木)を壊していく事に少し違和感がありましたが有効利用されていると聞き安心しました。地層からその年に何があったのかわかるのも勉強になった
- ・湿原の自然がどれほど豊かか及び再生の取り組みの重要性を体験することにより得られた
- ・植物や魚などの生き物が少しずつ湿地のものに入ってきているのを見せてもらってこの事業が継続していくことの大事さがよくわかった
- ・ヨシ植えとその成長
- ・湿原の中を歩いたこと。見学会というより体験会という感じがした
- ・やはりヨシが繁茂し再生していた事です

#### ■市民講座 参加者回答

---

- ・短い時間のフィールドワークで大変内容の濃いものであった。コロナ非常事態宣言の中関係スタッフの方に改めて日程を調整していただき実施できたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました
- ・湿原が歩きにくかったこと（楽しかったです、人に伝えたくりました）
- ・実際に湿原の中に入るのは初めてでしたし、魚類をあんなに間近で観察したのも初めてですべてが新鮮だった
- ・湿原を歩いたこと、サケを見たこと
- ・湿原のヤチマナコやシャケの産卵場所を見ることが出来た事
- ・自分が興味のあることの発見もあった
- ・湿原歩き
- ・胴長はいて、新庄さんの案内で湿原を歩いて、川に近いところ、はなれた所で水の成分、栄養分を計りながら育つ植物が違ったりして関心を持ちました。所々水をこぎながら歩きづらい所を歩けたのが良かった

#### ■企業協働 参加者回答

---

- ・植樹が大変だった
- ・初めて植樹をしたが想像より大変だった。シカやウサギ対策がある事も知らなかった
- ・景色が綺麗だった
- ・結構重労働だった
- ・普段札幌に住んでいると自然と触れ合う機会が少なかったので体験自体が貴重で有意義だった
- ・植樹
- ・センターの方の親切、丁寧な説明
- ・4種類の広葉樹を植える事が出来た
- ・特になし

#### ■第2回ドングリ倶楽部 参加者回答

---

- ・解説を聞く事で新たな視点が見えた
- ・参加者人数を制限し過ぎているのではないか
- ・大変だった笹の根切り

#### ■水循環見学会 参加者回答

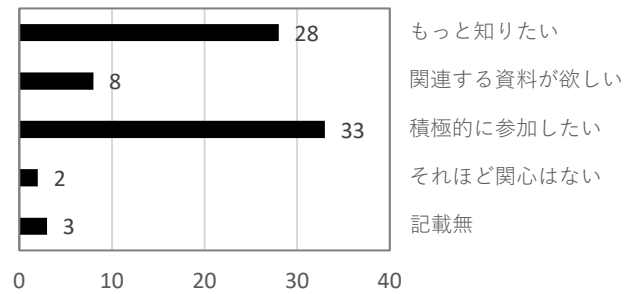
---

- ・キラコタン道中でのお話。
- ・右岸堤防ドライブ（景色・ワシ）とドローン、横堤、ハンノキの強さ。（キラコタンは以前、何かの研修で来たことがあると途中で気づいた）
- ・ハンノキの拡大が続いていることが分かった
- ・釧路湿原の自然再生事業について知ることができ、大変勉強になった
- ・タイトル通り行き届いた説明ありがとうございました。天候に恵まれた
- ・キラコタンでの風景と説明。ドローンでの上空からの動画
- ・キラコタン岬。ハンノキと湿原の関係
- ・一度、開拓（発）した湿原の再生に努力しているのを目の当たりに見ることができた
- ・鹿が増えすぎている

**設問 8. 今回訪れた事業地では、再生事業が行われています。再生事業について関心はありますか  
(選択式・複数回答)**

○自然再生事業への関心

関心度	参加行事				
	幌呂 見学会	市民 講座	企業 協働	雷別ド ソグリ	水循環 見学会
もっと知りたい	9	5	3	3	8
関連する資料が欲しい	4	0	1	1	2
積極的に参加したい	10	5	6	6	6
それほど関心はない	0	0	1	1	0
記載無	2	0	1	0	0





## 湿原の保全や再生に係る情報の発信について

### 1. 釧路市中央図書館への資料収蔵について

#### 《進捗状況》

- ・ 7月に各資料を収蔵済み
- ・ 2月1日より一般向け配架を開始。
- ・ オフィス WEB サイトにおいて告知。
- ・ 2月に釧路市中央図書館主催で企画展を実施。



### 2. 現地見学会の広報について

#### 《進捗状況》

- ・ 釧路湿原野生生物保護センターおよび温根内ビジターセンターにおいて、ポスター展を開催中。
- ・ オフィス WEB サイトに現地見学会ポスターおよび昨年度の実施状況を掲載済。



#### 《検討事項》

- ・ 次年度の広報について

### 3. 各小委員会発行ニュースレターを活用した情報発信について

#### 《進捗状況》

- ・ 各小委員会発行ニュースレター（時点最新版）をワンダグリンダ・プロジェクト登録者に配布済
- ・ 小委員会別にファイリングしたニュースレターを釧路湿原野生生物保護センター展示室に配架

#### 《検討事項》

- ・ 今後の活用方法について

※オフィス Web サイト

みんなで進める！釧路湿原の自然再生 (<https://www.kushiro-wanda.com/>)